

# 自己実現 2018

兵庫県立神戸高等学校 進路指導部

## 〔第3回実力考査教科・科目別講評〕

〈国語〉 平均 55.6/200 点 (現代文分野 28.8/100 点 古典分野 26.9/100 点)

夏休みの学習の成果を実感できたであろうか。結果を見て、これまでの学習のやり方を振り返る機会にしてほしい。現代文、古典ともに、「長文」を「読解」する「問題演習」に、夏休みにどれだけ意識的に取り組んだのかということ問いかけてほしい。夏休みに国語の学習があまりできていない人は、直ちに「長文」の「実践的演習」に時間をかけて取り組まなければならない。「マーク式解答の問題」であれ、「記述式解答の問題」であれ、要は、「長文読解力」が鍛えられていなければ得点には結びつかない。

さらに、古典については、「語彙や文法の知識」をしっかりと習得していることが長文読解力につながることは言うまでもない。今回の実力考査では、夏休みに古典の基礎固めで力をつけた人と、そうでない人との差は歴然としていた。10月中旬から授業時に問題演習が始まるので、それまでに「古文の語彙や文法」・「漢文の語彙・語法や句形」の知識の徹底を急がなければならない。

〈数学〉 各設問の講評は、答案とともに配布した「解説・講評」に詳しく記述しています。

平均と最高点は以下の通りです。最後の問題まで解き切るには、深い対応力も要求される難しい問題であるが、各設問の(1)(2)などを中心に基本的な問題も多くあり、まだそのレベルで苦戦しているものが目立つ。順に対処していけばもっと数値は上がっていったと思われる。

文系

設問	1	2	3	4	5	合計
平均	11.6	13.6	7.8	14.5	9.9	57.3
最高	40	30	32	39	38	134
配点	40	40	40	40	40	200

理系

設問	1	2	3	4	5	6	合計
平均	13.6	2.1	15.2	12.8	14.1	6.6	64.4
最高	30	24	35	35	34	26	158
配点	30	30	35	35	35	35	200

夏休みに頑張って、考査に臨んだがその成果が発揮されず嘆くだけになっていませんか。点数や順位だけに目を向けている場合でもありません。まだまだ、これらは変わっていきます。要は、1題1題に十分に粘り強く考えぬけたか。問題を読んで、これは何を扱う問題なのか、わかっているものが何で、要求されたものにたどり着くにはどのような過程があるか、勉強してきたものの中にそのヒントがあるはず。それを見つけれなかったのはなぜなのか、知識として知らなかった、知っていたけど、使いどころが身につけていなかったのか。多くが過去にも使ったことがあるはず。攻め方、迫り方に根拠があるものです。それは、基礎基本に基づいたもので、今一度追及してほしい。そこを大切に今回のテスト直しはもちろん、現在、日々の授業でやっている問題演習の1つ1つで意識して身につけて欲しい。それができるようになっていくと異なる問題でも対応していけるようになっていきます。

〈英語〉 今回は、No.1の「長文問題」で文系クラスが健闘しているのに対して、総合理学科と理系クラスの平均点がやや下がっていることが気になった。前回同様、全て実力問題であった。全国模試に比べて難易度も高く、

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現2018』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

問題量も多いので、やはり最初に時間配分をして解答することが重要である。第2回実力考査講評にもあるように、例えば、長文各20分が3題、発音アクセント・文法問題が20分、英作文20分で計100分とし、どの問題から解答していくのかを工夫することが肝心である。

No.2の「発音・アクセント問題」「文法・語法問題」も量をこなしていけば安定して得点できるはずだが、いずれも全体平均正答率が43.2%、30.3%と低迷していることは残念だ。まだまだ伸びしろがあるということだと信じる。

また、「英作文問題」に関しては、「自由英作文」の正答率が低い。正答率は全体が5.6%、普通科が5.0%、総合理学科が10.7%でまだまだ取り組みの甘さを感じる。語彙力増強とともに今後こうした問題にも取り組んで慣れていく必要がある。従来の「和文英訳型の英作文」では、第2回考査(全体平均正答率13.6%)から今回(全体平均正答率21.5%)まで改善が見られた。一層のみんなの頑張りとお実力向上に期待している。

夏休みも他教科とのバランスを考えながら、基礎力の充実に取り組んできたことと思う。文法・語法、構文の知識、語彙力増強を基礎に置きながら、英作文問題、長文問題等に取り組んできたはずだ。ただ、今回の考査で結果が思うようになかったと焦りを感じている人も多いと思う。高い目標を持って努力しているのだからそうした想い、悩みは仕方ない。焦る気持ちは分かるが、地道な努力を弛まず続けていこう。結果はやがて現れるはずだ。但し、努力の仕方に改善の余地がある場合もあるので、先生や友人に相談してみるのもよいだろう。勿論、今回の考査の解答・解説を活用して復習をすることは怠りなく。

秋になり、今後も「体調管理」とともに「やる気管理」を怠らないようにしましょう。

All things are difficult before they are easy. Try your best!

学年全体(200点満点) 平均点 60.2点

No.1平均(100点満点) 31.9点 No.2平均(100点満点) 28.3点

普通科 平均点 58.4点 総合理学科 平均点 74.7点

No.1平均 31.1点 No.1平均 37.7点

No.2平均 27.2点 No.2平均 37.0点

<リスニング>

平均点 学年全体 37.3点 普通科 36.8点 総合理学科 41.4点

<リスニング+筆記>250点を200点満点に換算

平均点 学年全体 77.4点 普通科 75.6点 総合理学科 92.1点

**<物理>** 力学、熱学、波動、電磁気学の4分野からの出題である。難易度は標準～難である。いずれの問題

も基礎力に加えて設定された物理的状況をしっかりと把握、理解する力が必要で、これを苦手とする生徒は多く70回生理科系生徒の現状が見てとれた。難関大の2次試験では複雑な状況を把握する力は必須であり、加えて計算力が必要である。基礎がある程度完成した生徒諸君は残った期間でこうした系統の演習を数多くこなして慣れていく必要がある。各大問の成績は次に示すとおりである。

	問1(力学)	問2(熱)	問3(波動)	問4(電磁気学)	/100
普通科平均	6.4	8.9	4.2	5.6	<b>25.1</b>
標準偏差	5.4	4.3	3.3	5.4	12.8
得点率 %	<b>31</b>	<b>37</b>	<b>20</b>	<b>17</b>	
総理学平均	9.3	9.5	6.7	11	<b>36.5</b>
標準偏差	7.1	5.8	4.4	7.9	17.5
得点率 %	<b>44</b>	<b>40</b>	<b>32</b>	<b>32</b>	

すべての問題で力学が絡んでいる。得点率をみると力学の基礎がまだ確立されていないといってもよい。特に普通科ではこの点が目立っており、加えて他分野の基礎的理解も不十分で全体的に得点が低い原因になっている。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

<ご意見・ご質問をお寄せください>

『自己実現2018』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

物理学では「基礎」＝「簡単」では決してない。基礎を正確に理解し直し徹底マスターすること考えて今後取り組むことが望まれる。総合理学科は力学の基礎をほぼマスターしている生徒が普通科に比べて多いが、まだまだ不十分な生徒も多い。難関大を目標とするなら、標準レベル以上の問題を短時間で処理する練習が今後必要になってくる。グループ学習を取り入れた入試過去問演習を、単にできた、できなかったのレベルで捉えるのではなく、一問一問を丁寧に検討し完答していくことが実力養成の近道となることに早く気づくべきである。

以下は各問の簡単な解説である。

①は力学の問題で、弾性衝突する微粒子が容器の内壁に及ぼす圧力を計算する問題である。容器は球殻状でしかもだんだん一定の速さで収縮していく場合について考えている。誘導してあるが、しっかりと読み取りができないと対処できない。

②は熱力学の問題で、音波にともなう気体の状態変化を問うた。気体の圧縮過程を短時間とし、この間の熱の出入りは考えず状態点は直線的に変化するとした圧縮モデルを、定積変化と定圧変化を組合せた等価なモデルで考えるという問題である。これもしっかりと読み取りと計算力が必要になる。

③は波動の問題で、弦を伝わる波の速さを単振動で近似した力学モデルから導くという問題である。大学教養レベルの演習問題を大学入試程度に落とし誘導してあるが、物理学の本格的な考え方をしているので、問題を注意深く読み、しっかり論理を追っていかないと対処できない。

④は電磁気学の問題で、電磁誘導現象をローレンツ力から考えるという問題である。(3)以降はしっかりと設定されている状況を考えることができたかどうかで大きな差が出る。特に(4)は磁場内を一定の角速度で回転する導体棒を回路に組み込み、抵抗やコイルでの消費電力を考えさせている。等価回路を考えられることが鍵であるが、そのためには回路における各点の電位を正しく把握することが出発点となる。

**<化学>** 今回の実力考査は、4月・9月と比較して基本的な内容の出題を増やした分、得点率は上がっているものの、以前基本問題での取りこぼしが目立っている。夏休みに入試問題を中心とした難易度の高い問題の演習を増やしている者も多いとは思いますが、遠回りだと思わずに今回の実力考査で取りこぼした分野について、もう一度グローバルなどの基本問題を中心に復習をしてもらいたい。

次に、2学期に入り入試も直前となった段階でよく考えて考査に取り組んでほしいのは問題の難易度である、難易度の高い問題に時間を使うのは考査ではナンセンスである。自分の演習なら難易度の高い問題に時間をかけて取り組むことも大事であるが、考査は時間が限られているので、その時間内で最大限得点を重ねられるよう、自分の溶ける問題を優先するよう心がけること。

**<世界史>** 平均43.6点(マーク33.2/70 記述10.4/30) 最高点：81点

今回の考査では、3年の1学期履修分と2年の学習範囲から二次試験を意識した論述問題4問とセンター試験を意識した正誤問題48問、一問一答式問題18問を出題した。3年の学習分野についてはまずまず取れているが、時々正答率が30%を切る問題もあり、解説をよく読んで、何が問われているかを確認して欲しい。2年の既習範囲は少し取れるようにはなってきたが、あいかわらず年代整序問題の正答率が低いのが気がかりである。ただ、世界史はこれからの追い込みで力がつく科目であるので、教科書をよく読み、流れを理解して基礎語句を確認し、く努力を続けて欲しい。

**<日本史>** 【1】問11は、史料の空欄補充なのだが、推測する力を問う形での出題とした。配点も少なくあまり注目しなかったと思うが、センターでは次第にこうした推測して答える設問は増えてくるだろう。解説をよく読むこと。【2】正答率は低かった。1学期の部分。しっかり。【3】こちらは正答率高かった。ただ漢字のミス注意。全問をよく読むと同じ漢字が使われていたりする。【6】大枠は把握できるようになってきている。細かい点に留意を。さあ、これからだ！逃げずにやっつけていこう！

<保護者の方々にも読んでいただきましょう> <ご意見・ご質問をお寄せください>

『自己実現2018』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

〈地理〉平均 57 点。ほとんど日本地誌で出題した。この部分は高校で学習することがほとんどなく、中学生の知識の復習が必要である。また地形図読図という特殊な技能も必要である。苦手な人はよく復習して身につけておくこと。

### 〈倫理・政治経済〉

[倫理分野]

50 点満点で 33 点ほどの平均点はほしかった。平均 27 点であることを考えると、あと 5～6 点、すなわち 2～3 問の正答が必要であったということ。いずれも注意深く読むことで正答は出来たであろう。心してかかれ。

[政治]分野の平均点：27.7 点/50 点

今回の政治経済は、4 月の授業から夏季補習までで学んだ内容を出題した。範囲は政治分野、ほぼ教科書の半分にあたる。ただし、問題のうち 5 分の 3 は、国際政治から出題した。基本的に、受験した生徒たちはよく復習を重ねており、平均点も予想より高かった。指摘するなら、国際政治の分野で、国連の平和維持活動（大問 2 問 4 (2)）、戦後の国際政治（大問 3 問 2 (2) (3)）、戦後の国際紛争（大問 3 問 4 (2)）など、なじみの薄い国際的な分野や外国の歴史・事件などは、やや正答率が低い傾向がみられた。教科書をすみずみまでよく読み、授業で指定した資料集の範囲をもう一度しっかり見直して、知識を整理してほしい。そうすることで、より確実に得点を上げていくことができるだろう。

〈連絡〉 前回「自己実現」で曜日の間違いがありました。訂正いたします。  
また、下の【例外】に当たる人は早急に申し出ること。さらに、別日程の日時が決定しました。

#### ① 10/13(金)・14(土) … 第 4 回実力考査 (第 2 回ベネッセ・駿台記述模試)

10/12(木) LHR (or 終礼) 受験届記入

10/13(金) 放課後

15:25 着席完了 15:30～17:10 英語+リスニング(100)

10/14(土) 08:20 着席完了 地歴→理科→国語→数学 16:20 終了

〈注意事項〉

【例外】理系で理科の試験時間に「理科①+理科② 1 科目」の型でセンターを申し込んだ者は、この型の受験を許可します。9/27(水)までに進路指導部の長坂先生に申し出てください。

まだ、申し出していない人は専門理科 2 科目受験として扱います。

**★入試・部活等で公欠の人は 10/28 日(土)に 1 日で全科目を受験します。**

#### ② 11/2(木)・3(金) … 「第 3 回全統マーク模試」←前回の自己実現から曜日を訂正

11/2(木) LHR (+終礼) 第 4 回進路希望調査・受験届記入 ←前回の自己実現から変更・訂正

放課後 数学①(60 分) + 数学②(60 分)

11/3(金) 08:20 着席完了・マークシート配布

地歴→理科→国語→英語→リスニング (ICプレイヤー使用) 16:10 終了

その後 自己採点 (60 分程度)

〈注意事項〉

【例外】理系で理科の試験時間に「理科①+理科② 1 科目」で受験を希望する者は進路指導部の長坂先生に申し出てください。

**★入試、オープン模試などで試験日に受験できない者は、10/12(木)までに進路指導部の長坂先生に申し出てください。11/4(土)に別日程で受験します。**

11/3 に京大・一橋・東工大オープンや阪大実戦を受けたい人は**進路指導部に申し出てください。**11/4 に別日程を設定します。

〈保護者の方々にも読んでいただきますよう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現 2018』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校 HP でも閲覧できます。